

豊かで小さな家 紀寺借家 計画から完成

13:00 ● 開会の挨拶

13:10 ● 地域の木造建築を残すために
紀寺借家の計画から完成



藤岡龍介 (ふじおか・りゅうすけ)

藤岡建築研究室主宰 / NPO 法人古材文化の会 副会長 / なら・町家研究会会員。水澤工務店 (東京)・降幡建築設計事務所 (松本) を経て 1985 年、藤岡建築研究室を開設。町家や民家に魅力を感じ、現代に活かし次世代に繋ぐ活動を行ない 25 年。「ならまち格子の家」、「ならまち振興館」など再生を中心に約 90 軒がける。



13:40 ● パネルディスカッション
まちのこと暮らしのこと～それぞれの立場から～



生駒晴代 (いこま・はるよ)

奈良町のオーガニックレストラン「あしゅ〜ら」オーナー。大和郡山、紺屋町の町家に生まれ育つ。88 年に当時は極めて珍しかった町家レストランと出会い後継者となり、その後やむなく離れたが美術教師の御主人と奈良町に築 80 年の家を求め店をオープン。古い町家の良さも手ごわさも掌中にし、気合を入れて住みこなす。



喜多和夫 (きた・かずお)

家業として行っていた乳酸菌飲料研究・製造工場跡の建物 (大正 14 年築) の維持保存活動として、平成 21 年 11 月に建物の一部で喫茶スペースをオープン。学生・社会人としての 20 年近い東京での生活体験、というフィルターを通してあらためて『日本の原点』ともいえる奈良の良さを見つめている。



近田智也 (ちかだ・ともや)

住宅メーカーに勤め、省エネで快適な最先端のすまいの普及を推進しつつ、私生活では無断熱の町家に住む。



林 啓文 (はやし・のぶふみ)

奈良市役所において観光課長、経済部長、市民生活部長等を歴任。現在、(財)ならまち振興財団専務理事その他、(特活)さんが俵座 (くるまざ) 理事。

◆コメンテーター◆



増井正哉 (ますい・まさや)

奈良女子大学生活環境学部教授 工学博士。京都大学工学部建築学科卒業 (同大学院博士課程修了) [専攻] 建築学・建築史・保存修景計画、地域計画 [受賞] 日本建築学会霞ヶ関ビル記念賞 (1990)、建築史学会賞 (1999) など [主著] 町に住まうー大阪都市住宅史 (1989) など。伝建対策調査、歴史的集落・町なみの保存整備などに取り組む。

◆司会◆

藤野正文 (ふじの・まさふみ)

(社) 奈良まちづくりセンター副理事長として約 30 年間、奈良町を中心としたまちづくり活動などに取り組む。また、奈良県庁まちづくり推進局地域デザイン推進課に勤務し、歴史的町並地区におけるまちづくり活動を支援すると共に「なら・まちづくりコンシェルジュ」として県内の歴史的な資源を活かしたまちづくりを応援。

15:50 ● 閉会の挨拶

■ 申込み方法 ■ FAX、E-mail にて [郵便番号・住所・氏名・電話番号・所属・E-mail] を古材文化の会事務局までお送りください。

■ 問い合わせ ■ NPO 法人 古材文化の会 Tel: 075-532-2103 Fax: 075-551-9811 E-mail: kozaiunka@ybb.ne.jp

Fax: 075-551-9811

参加希望にチェックしてください (両方も可)

シンポジウムに参加します

完成見学会に参加します

氏名：

所属：

〒

住所：

電話：

e-mail：